

# 会議録

- 1 会議の名称 第1回熊取町公共交通会議
- 2 開催日時 令和3年5月24日（月） 13時30分から15時まで
- 3 開催場所 熊取ふれあいセンター4階 研修室
- 4 議題 議事（1） 会長・副会長の選任について  
議事（2） 熊取町公共交通会議の目的について  
議事（3） 熊取町の現状・課題について
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 審議等の概要

## 議事（1） 会長・副会長の選任について

- ・会長には本会議設置要綱第4条に基づき、井上馨委員が就任されました。
- ・副会長には同条に基づく会長の指名により、坂口正文委員が就任されました。

## 議事（2） 熊取町公共交通会議の目的について

- ・公共交通体系システムの構築や公共交通のあり方をフラットな状態から検討し、熊取町のより良い公共交通を実現することを目指し設置した旨、説明を行いました。

## 議事（3） 熊取町の現状・課題について

- ・熊取町の現状と課題について、事務局から説明を行った後、委員の皆様にご意見をいただきました。

### 個別課題

「高齢者の外出支援」、「買い物弱者の移動支援」、「フリー乗降制度の拡充」

「駅西整備に合わせた熊取駅への乗り入れ」、「ラストワンマイル問題」

### 総合的な課題

「持続可能な公共交通網の検討」

### 【委員からの意見】

- ・ひまわりバスについて、逆回り運行の追加、駅への乗り入れ、フリー乗降の拡充について議論していきたい。
- ・ラストワンマイル対策については、自宅から目的地までの移動支援も含めて検討してはどうか。
- ・社会福祉協議会が運営する移送サービスの拡大について検討してはどうか。
- ・これまで路線バスと役割をすみ分けてきたひまわりバスが駅に乗り入れることにより、路線バスと競合した場合、路線バス事業の運営が成り立つのか、また、成り立つために何が必要かの議論が必要と考える。
- ・ひまわりバスが駅に乗り入れる場合は、路線バスとひまわりバス双方の運行形態のすみ分けや統合などを含め、新たな公共交通網を検討していく必要があると考える。
- ・ひまわりバスが駅に乗り入れる場合は、時間帯別の交通機関のすみ分けによる対応を検討できるのではないか。
- ・経済的な持続可能性をふまえた広い視野により検討をすすめる必要がある。
- ・住民アンケートでは、ひまわりバスだけではなく、路線バス利用者の声も聞くべき。
- ・他市町村で、自治会が「あれば便利」ではなく「ないと困る」との当事者意識を持ち、主体となって効果的な移動手段を確立、運営している事例がある。
- ・公共交通と言えども、収支が合わなければやむを得ず、撤退、廃業となる。
- ・公共交通は、未来まで保障されているものではなく、利用が少なければ、将来、バスもタクシーも無い町になってしまう。
- ・公共交通機関の利用者は減少傾向にあり、コロナ禍において更に減少している。
- ・アフターコロナも利用者が減少した現状のままなら、公共交通事業者は経営がもたない。
- ・交通事業者は、公共交通に使命感を持ち、事業継続に努めている。
- ・公共交通事業が維持できるよう、乗れる時は乗るという利用者の意識が重要となる。
- ・ひまわりバスで行っている運転免許を自主返納した方への5年間の無料乗車券配布などの公共交通機関の利用促進の取り組みが重要となるのではないか。
- ・定時定路線を循環するひまわりバスから、デマンド交通への移行も含め検討していく必要がある。
- ・デマンド交通は交通空白地帯の多い山間部等との効果の違いをふまえ考えるべき。
- ・民間福祉施設所有のバスのような、イベント時等に指定した時間、場所で乗り合い利用ができる形態のバスの活用について検討してはどうか。
- ・本会議を通じて出た意見やアイデアを整理し、現状改善の対応を検討し、また一方で公共交通の全体をもう一度構築し直すという事を、時間をかけてでも議論していきたい。

8 審議会の情報	名称	熊取町公共交通会議
	根拠法令等	熊取町公共交通会議設置要綱
	設置期間	令和3年5月14日～
	所掌事項	熊取町公共交通に関すること
	委員数	9名

9 担当課	道路課
-------	-----